

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



明治生命館(千代田区)

西徳寺の予定 5月

- 11日(土) 午後5時半 同行会 「和讃」に学ぶ
法話:高橋 淳
- 12日(日) 午後2時半 城南ブロック会総会・間法会
場所:大井町きゅりあん
- 15日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 18日(土) 午後2時 総代会
- 19日(日) 午後2時半 城西ブロック会総会・間法会
場所:四谷 TKPスター貸会議室
- 25日(土) 午後3時 燈虹塾セミナー 場所:西徳寺・本堂

6月

- 8日(土) 午後5時半 同行会 「和讃」に学ぶ
法話:蓮井 邦宗
- 9日(日) 午後2時半 城北ブロック会総会・間法会
場所:池袋 くいもの屋わん
- 15日(土) 午後1時半 定例間法会
- 16日(日) 午後2時半 城東ブロック会総会・間法会
場所:亀戸文化センター
- 19日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 20日(木) 午後2時 評議員会役員会

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

ランドマーク 明治生命館(千代田区)

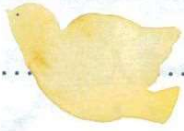
今月は東京駅と皇居の間にある明治生命館に伺いました。

昭和9年(1934年)3月に、明治生命の業務の拡大に伴う新社屋として建てられました。昭和20年(1945年)9月から昭和31年(1956年)まで、アメリカ極東空軍司令部として接收され、館内の会議室が連合国軍最高司令官の会議場として使用されました。マッカーサー総司令官も会議に何度も出席したそうです。

設計は当時の建築学会の重鎮であった岡田信一郎氏。古典主義様式の最高傑作として評価され、日本の近代洋風建築の発展に寄与した代表的な建造物と言われ、昭和の建造物として初めて国の重要文化財に指定されました。

顧問の一言は次のページ

5月の山門の言葉



人生そのものが想定外

元日の能登半島大地震。一瞬にして海岸線が変わるほどのエネルギーになす術はない。再発しないことを願うばかりだが、この日本列島に安全地帯はない。

十三年前の東日本大地震、巨大な津波に対して「想定外」という言葉が飛び交ったことを思い出した。

人類のあらゆる進歩発展は、豊かさを求め続ける、人間の飽くなき欲望と同時に、「想定外」を少しでも「想定内」に転換していくことで、安心や安定を求め実現してゆく人間の営みなのであろう。

しかしそこには、想定内になれば物事を受け入れることができるという、人間の錯覚があるのではないだろうか。例えば「生まれた人は必ず死に帰す」という理は、万人が知る想定内の事実のほずである。ところが他人の死は想定しても、大切な人もしくは自分自身の死は想定外ではないだろうか。なぜなら、十分に想定しているのであれば素直に領き受け止めることができるはずである。ところがそれが出来ないのである。

実は、私にも必ずやってくる死がどこまでも想定外である。更には生まれることも想定外なのではないだろうか。だからこそ三帰依文に「人身受け難し、今すでに受く」といわれるのだろう。

生まれ死ぬという人生そのもの、生老病死そのものが想定外。その想定外こそが私に与えられた人生なのではないだろうか。同時に想定外だからこそ、日々の事柄や森羅万象に感動が生まれる。只々、無感動のこなす毎日になってないだろうか。

マンネリ化した私に、実は一日一日、一瞬一瞬が初事なのだと呼びかけ、受け止めさせる力が南無阿弥陀仏である。

(山崎 哲記)

顧問のカレンダーに聞く



仏さまの光に

照されて

私の心に

明りがつく

When the Buddha shines that Light on me,
oh my whole heart just lights up!

何の心配もない健康な方が、ちょっとした不注意で階段を踏み外して骨折。更に長年可愛がった猫が急死した。その方から厄払いをしてほしいと依頼されたので、南無阿弥陀仏の教えを聞くように勧めました。

思い通りの現実を願う私の心が、どこまでも自己中心であることを聞き開く。その一点が教えの要だと教えられます。厄を作っていたのは私の心。思い通りにならない現実の受け止め方が課題であった。落ち込んでいた現実に生きる一歩を得たことが明るさなのです。





お斎ナビでは西徳寺にご法事、またはお墓参りに来られた方が立ち寄れる飲食店をご紹介します。

今回ご紹介するのは、三ノ輪駅のすぐ近く、西徳寺から歩いて9分のところにある「洋食ビストロ谷中亭」。

店主は京都出身の谷中(たになか)さん。ドイツ・フランス・スペインで7年間シェフを勤められ、東京でも約20年腕を振るっておられます。昨年の秋に三ノ輪で、昼は洋食、夜はワインを飲みながらコース料理を、コテコテの京都弁とともに提供するビストロ、谷中亭をオープンされました。台東区で谷中という“やなか”と間違えられるので、谷中(やなか)亭にされたそうです。

昼のランチセットは、週替わりランチを中心に、カレーやハンバーグがいただけます。夜はコース料理で気軽に本格料理がいただけます。出されるお料理は、パンも含めてほぼ全て自家製です。おすすめです！

昼のランチセットは、週替わりランチを中心に、カレーやハンバーグがいただけます。夜はコース料理で気軽に本格料理がいただけます。出されるお料理は、パンも含めてほぼ全て自家製です。おすすめです！



4人テーブルが2つ、6人テーブルが1つあります

メニュー (価格は全て税込)

ランチセット (ALL¥1,000・スープ・サラダ付/ライス大盛り無料)



ハンバーグセット



カレーセット



週替わりセット



気まぐれパスタセット

ディナー

チョイスコース ¥2,980 [前菜+リゾット or メイン+自家製ハーフバゲッド+コーヒー]

おすすめコース ¥3,900 [前菜+パスタ or リゾット+メイン+自家製ハーフバゲッド+コーヒー]

※記念日に (要予約)

おまかせコース ¥5,000 [前菜+リゾット+魚料理+肉料理 デザート付き Total 5品]

おまかせコース ¥7,000 (定休日でも可) [前菜2皿+魚料理+肉料理+米料理 デザート付き Total 6品]

ドリンク ¥600~

ビール(小瓶) ハイボール スパークリング シェリー酒 ワイン(白・赤・ロゼ) 日本酒(1合) 焼酎(麦焼酎)

ソフトドリンク (ALL¥600)

ウーロン茶 ジンジャーエール オレンジジュース
紅茶 アメリカンコーヒー エスプレッソ

洋食ビストロ 谷中亭 谷中亭

東京都台東区三ノ輪1-22-8 (三ノ輪駅1B出口すぐ)

月~金: 11時~14時 / 18時~22時

土曜日: 11時半~14時 / 18時~21時半

定休日: 日曜日・祝日

☎080-1619-6498



同行会修習式

3月30日(土)、本堂にて同行会修習式を執り行い、山崎住職から修習証の授与がありました。

また、石井会長より挨拶を頂戴し、「新年度も改めて、皆さまとご一緒に教えを聞いていきたい」と力強く述べられました。

親鸞聖人が明らかにしてくださいました教えに、今一度、我が身を問い尋ねていけるような学びの場となればと思っております。
(大橋 伊知郎 記)



燈虹塾サロンのご報告

燈虹塾は、400年に及ぶ江戸吉原の文化を改めて調査し、理解し、保存し、愛で、普及することを目的として活動をしています。

そんな中、当塾の日比谷孟俊塾頭は令和6年5月19日まで東京藝術大学にて開催しています「大吉原展」に関わっておられます。今回は「大吉原展」に展示されている資料を基に、理事を交えてざっくばらんに語り合うサロンを開催しました。普段質問しづらいことも気軽に聞き合える、大変和やかな時間でありました。

(事務局 高橋 記)



寺務所からのお知らせ

令和4年に入寺した大谷隆君が、2年間の華香所勤務を経て、令和6年4月1日より法務員として勤めることになりました。

元気で活発なキャラクターを各種行事で活かし、人懐っこい性格は、法務において、じっくりとご門徒に寄り添ってくれると期待しています。

法務員として、まだ学ぶことが多く、ご門徒の皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あるかと存じますが、温かい目で見守ってくださいますようお願い申し上げます。
(副住職 大橋 伊知郎)



大谷隆君

皆様の代わりに、お花・お線香等、お墓にお供えできます。

帰敬式のご案内

令和6年11月3日(日)午後に帰敬式を西徳寺にて執り行います。

冥加金	法名	20歳以上	20,000円以上
		20歳未満	10,000円以上
		小学生以下	5,000円以上
	院号法名	希望	190,000円以上
	院号	希望(すでに法名をお持ちの方)	170,000円以上

●募集締切：令和6年9月30日(月)●

※法名とは「釋〇〇」、院号とは「〇〇院」、院号法名とは「〇〇院釋〇〇」のことで。

受式を希望される方は西徳寺寺務所(03-3875-3351)までご連絡ください。何かご質問のある方もお気軽にご連絡ください。

受式を希望される方には、後日詳細を書面にてお送りします。



評議員会総会

4月21日(日)、西徳寺本堂にて「令和6年度評議員会総会」を開催いたしました。

小田責任役員総代様、竹内会長、山崎住職、大谷顧問よりご挨拶いただいた後、昨年度の報告と新年度の事業計画案、予算案等をご審議いただき、ご承認いただいたことをご報告申し上げます。

また、今年の11月2日(土)・3日(日)には、報恩講と併修して「西徳寺開基400年・本堂建立100年記念法要」を厳修致します。評議員の皆様を中心に、より多くの方にお参りいただきたいと思っておりますので、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

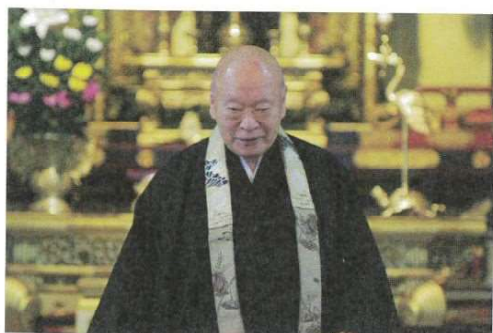
(大橋 伊知郎 記)



小田責任役員総代



竹内会長



大谷顧問



山崎住職



坊さんのツブヤッター



@りゅうにい

真っ新たな輪袈裟ではじめてのお参り。
帰りは仲井さんに助手席についてもらいはじめて都内を
運転。
慣れない服装、見慣れない光景、たくさんの“はじめて”に日々
奮闘中。
今後ともよろしくお願いいたします。

4月から法務員 # 先輩方がより大きく見える毎日



「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。

えこお志お礼

- 台東区 吉川 明子 様
- 板橋区 木下 順子 様
- 北区 小山 光子 様
- 足立区 小宮 久恵 様
- 港区 安井 均 様
- 江戸川区 谷 晋一 様
- 荒川区 高峯 博 様



ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、
愚禿が心を顕す～

昔テレビっ子だった私が、最近ほとんどテレビを見なくなりました。子どもにチャンネル権を奪われてもいますが、見ても面白くないと感じるので。ヤラセ批判や放送倫理が重視され、放送されるのは無難な番組ばかり。そしてスマホを開けばいつでも好きな動画が見られます。テレビをはじめとする情報が、与えられるものでなく、個々に取捨選択するものになってきているのでしょう。

私たち人間が求めてきた便利さは同時に、個々別々、果ては様々な主義がぶつかる争いの種になり、人との大切な関係もAIに取って代わられてきています。ブレーキが効かないほど早く変化する日常の中で、人間の迷いを感じています。

(編集長 仲井 真裕 記)



先日、長女と中野ブロードウェイに行きました

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook